

グラフィック社・3月の新刊

鳥居大図鑑

藤本 頼生 編著



全国55+海外1の神社の鳥居を全て撮りおろし写真で！
新しい神社参拝の楽しみ方を紹介する1冊

どこの神社でも境内入口に必ずある鳥居。実はそのルーツは未だ正確なことがわかっていません。しかし、形状や素材、色や大きさなど、現在までに様々な種類に派生してきました。また、本来は「神社」にしかないはずの鳥居が「お寺」に立っていることもあります。本書ではこうした全国各地の鳥居の違いや見どころを撮り下ろし写真とカラーイラストで詳細に解説。よくよく見てみると鳥居はこんなにバラエティに富み、個性的だったのか、と神社参拝に新たな楽しみ方を紹介する1冊としています。なお、撮影にあたり、鳥居が一番美しく見える時間帯をリサーチ、海上に立つ鳥居では干潮・満潮時の両方、海沿いの鳥居では朝一の日の出の時間を狙って撮影するなど、撮りおろしならではの美しい写真を数多く掲載しています。主な掲載神社：北海道神宮／出羽三山神社／巖島神社／鳥森神社／石切劔箭神社、出雲大社／日吉大社／金刀比羅宮／波上宮／出雲大社ハワイ分祠 他

フルカラー192ページ／A5判／ISBN978-4-7661-3177-2 C0072／本体：1,800円

各項の巻頭では美しい写真で鳥居を紹介



対馬（長崎）和多都美神社

漁船をチャーターするなどし通常は撮影できないアングルからの写真も



大洗（茨城）大洗磯前神社

日の出の時間にしか見られない美しい鳥居×海×日の出という写真も

本編のページ構成

写真とイラストでそれぞれの鳥居を解説

「神の山」三輪山禁足地の入口

神社・伊弉諾神社の社殿右手には、三輪山山頂への登拝口がある。「神の山」とされる三輪山の多くは禁足地とされているが、許可を得ることによって山頂までの登拝ができる。

特別に神聖な場所「禁足地」を示す標柱
登拝口には木製の柱に注連縄を垂した標柱がある。この柱は許可なく立ち入ることはできない。



宮内庁にも書ける三ツ鳥居（三輪鳥居）。御祭神の宮内庁に奉告のある鳥居の印。鳥居の鳥居は「鳥居」のようには呼ばれず、中々の鳥居と呼ばれる。



神聖な山に立つ鳥居
この鳥居は神聖な「神の山」に立つ。大洗磯前神社では鳥居「おんじん」と呼ばれ、御祭神の宮内庁に奉告された鳥居として建てられている。



1964（昭和39）年、昭和天皇御即位30周年を記念して建立された鳥居。皇統に奉告され、三ツ鳥居が神聖な場所。

メインの写真で鳥居の魅力を紹介

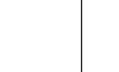
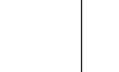
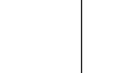
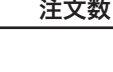
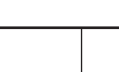
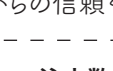
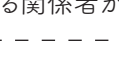
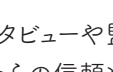
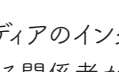
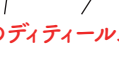
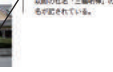
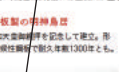
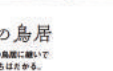
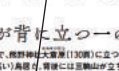
大縄が神界を示す標柱

拝殿にも特徴的な鳥居ではなく、登拝口と見られるような標柱が立てられている。柱の下には玉串や鳥居が付くなど、他の鳥居と外見も異なる。

縄を渡した柱が多くの形式の原形とも
標柱を特徴的な鳥居の原形とする説もある。四代鳥居の形を模した神社に多い鳥居形式といえる。



注連縄は毎年12月、御正月にかけ替えられる。長さ5m、太さ1mで重さ300kgになるという。



周囲ではイラストで鳥居のディテール、その他を含めて解説

編著者：藤本頼生

國學院大學神道文化学部准教授。TV番組などメディアのインタビューや監修も多数。実家が神社関係ということもあり、神道に携わる関係者からの信頼も厚い。

地区	書店コード	書名	注文数
書店印		鳥居大図鑑 藤本頼生 編著	冊
		ISBN978-4-7661-3177-2 本体:1,800円	